

## 1. 実況上の着目点

① 前線が東シナ海から伊豆諸島付近を通り日本の東へのびている。前線に向かう下層暖湿気の影響で、九州南方海上から四国沖にかけて多数の発雷を検知し、強い雨を解析。また、奄美地方でメソサイクロンを検知。熱帯低気圧が先島諸島付近を、ゆっくり南西進。周辺で非常に激しい雨を解析。

② 大陸の高気圧が日本の東から東シナ海へ張り出し、日本海では下層寒気移流に伴う筋状の雲が明瞭。北～西日本の日本海側では1時間10mm前後の雨を解析。①の前線や熱帯低気圧と大陸の高気圧との間で気圧の

傾きが急となり、全国的に13m/s前後の風を観測し、先島諸島では、うねりを伴い大しけとなっている。

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の前線は、23日にかけて東シナ海から日本の東でほとんど停滞。500hPa 5820m付近の正渦度極大域が22日にかけて断続的に東～西日本を通過する。前線に向かう下層暖湿気や上空の気圧の谷の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い猛烈な雨が降る所がある。伊豆諸島では22日明け方にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。伊豆諸島では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、沖縄・奄美地方では22日にかけて、大雨に警戒・注意。伊豆諸島と南西諸島では22日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。大陸の高気圧と本州の南の海上の前線の間で気圧の傾きが急となるため強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなり、しける所がある。東～西日本では22日にかけて、強風、うねりを伴う高波に注意し、伊豆諸島では23日にかけて、高波に注意・警戒。

② 1項①の先島諸島付近の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨の降る所がある。また、強い風が吹き、波が高くなり、大しけとなる所がある。先島諸島では22日にかけて、うねりを伴う高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、強風、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

③ 23日は、500hPa 5460m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過する。上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い強い雨の降る所がある。北日本では23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意し、北海道地方の標高の高い山地を中心に23日にかけて降雪に留意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点

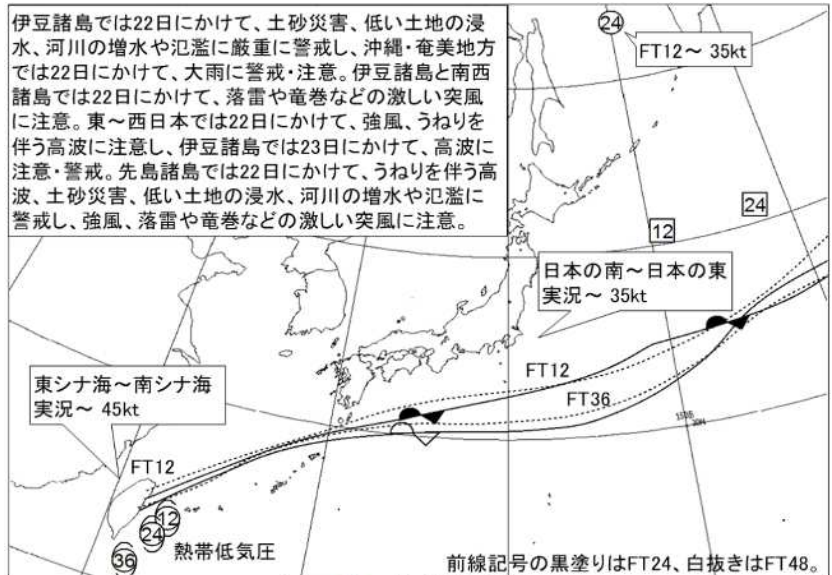
総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

## 4. 防災関連事項 [量的予報等]

① 雨量(18時からの24時間)：伊豆諸島200、沖縄180、九州南部150、奄美100mm。② 波浪(明日まで)：沖縄6、伊豆諸島・九州南部5、近畿・四国・奄美4、関東・東海・中国・九州北部3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

## 5. 全般気象情報発表の有無

「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。



主要じょう乱解説図